

14時30分解禁

令和3年12月 全国百貨店売上高概況

令和4年1月25日

I. 概況

1. 売上高総額	5,920億円余
2. 前年同月比(増減率)	8.8%(店舗数調整後/3か月連続プラス)
3. 調査対象百貨店	73社 189店 (令和3年11月対比±0店)
4. 総店舗面積	4,921,561㎡ (前年同月比:-2.5%)
5. 総従業員数	57,536人 (前年同月比:-3.8%)
6. 3か月移動平均値 (店舗数調整後)	5-7月 11.7%、6-8月 -2.5%、7-9月 -3.4%、 8-10月 -3.9%、9-11月 2.7%、10-12月 6.9%

[参考] 令和2年12月の売上高増減率は-13.7%(店舗数調整後)

【特徴】

12月の売上高は8.8%増(3か月連続)、入店客数は14.1%増(2か月連続)と高伸した。新型コロナウイルス感染者の減少継続を背景とした、外出機運や消費意欲の高まりに加え、各社が展開した外商催事、会員向施策、イベント等も奏功した。年末商戦は活況で、増勢が続く高額品の他、重衣料や防寒商材も好調に推移した。前々年比では売上高6.1%減、入店客数18.6%減だが、インバウンドを除くとコロナ前の売上水準に迫ってきた。

顧客別では、国内市場(3か月連続/シェア99.4%/前々年比2.0%減)は8.8%増と好調。インバウンドは6.5%増(4か月連続/シェア0.6%)だったものの、前々年比87.8%減と苦戦が続く。

地区別では、大都市(10都市/3か月連続/前々年比5.9%減)が、前月同様、全地区で前年を超え、11.7%増と二桁の伸びを示した。地方(10都市以外の地区/前々年比6.6%減)は1.8%増と2か月連続のプラスだが、都市との差は、前月よりさらに2.4ポイント広がった。

商品別では、主要5品目全て前年実績を上回り、うち3品目(衣料品、身のまわり品、雑貨)で二桁増となった。ラグジュアリーブランド、時計、宝飾品など高額品の高伸が続いている他、外出機会の増加で、コート、ジャケット、アクセサリ、旅行用品なども活発に動いた。手土産や年末年始需要から和洋菓子も伸長し、おせちやクリスマスケーキは、ECを中心に二桁の伸びを示す店舗が多く見られた。

令和3年年間売上高は、5.8%増(4年ぶり/4兆4,182億円)と前年実績を上回った。前々年比では21.5%減とコロナ前には及ばないが、前年(令和2年25.7%減)より4.2ポイント改善した。インバウンドは33.1%減(2年連続/459億円)、前々年比86.7%減と更に水準を下げた。

年明けから新変異株の感染拡大で先行き不透明な状況にあるが、各店では、引き続き感染防止対策を徹底しつつ、業績回復に向け新たな需要動向に即した施策を展開している。

【要因】

(1) 天候 : 気象庁発表「12月の天候」の特徴は以下のとおり(一部抜粋)

◇上旬から中旬は気温が平年を上回る日が多く、下旬は大きく気温が低下した時期があり、全国的に寒暖の変動が大きかった。降水量は、北日本日本海側と東日本太平洋側でかなり多く、日照時間は、西日本太平洋側でかなり多かった。

(2) 営業日数増減 31.0日(前年同月比 ±0.0日)

(3) 土・日・祝日の合計 8日(// ±0日)

(4) 入店客数増減(回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数109店舗)

①増加した: 72店、②変化なし: 16店、③減少した: 21店

(5) 12月歳時記(年末商戦(歳暮、おせち、年末年始商材))の売上(同上/有効回答数88店舗)

①増加した: 29店、②変化なし: 48店、③減少した: 11店

NEWS LETTER

全国百貨店 売上高速報 2021年12月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ()が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
全 国	592,059,344	100.0	8.8 (8.3)
10都市	431,064,853	72.8	11.7
札幌	15,234,380	2.6	14.1
仙台	8,550,088	1.4	6.2
東京	163,684,648	27.6	11.1
横浜	38,293,699	6.5	7.6
名古屋	40,320,328	6.8	12.9
京都	24,540,659	4.1	9.9
大阪	88,659,620	15.0	14.9
神戸	15,285,782	2.6	8.7
広島	12,228,608	2.1	8.7
福岡	24,267,041	4.1	15.0
10都市以外の地区	160,994,491	27.2	1.8 (0.3)
北海道	1,343,016	0.2	-1.6
東北	6,369,202	1.1	-4.6
関東	71,666,940	12.1	3.6 (1.0)
中部	11,860,203	2.0	2.1 (-3.8)
近畿	22,709,390	3.8	-0.7
中国	12,470,578	2.1	3.0
四国	8,347,046	1.4	3.6
九州	26,228,116	4.4	0.0

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	592,059,344	100.0	8.8 (8.3)
紳士服・洋品	33,522,204	5.7	11.0 (10.7)
婦人服・洋品	89,730,637	15.2	13.9 (13.1)
子供服・洋品	8,337,588	1.4	5.2 (4.9)
その他衣料品	8,859,357	1.5	-2.7 (-3.0)
衣 料 品	140,449,786	23.7	11.5 (10.9)
身のまわり品	80,691,069	13.6	15.7 (15.4)
化粧品	41,367,606	7.0	8.7 (8.4)
美術・宝飾・貴金属	47,024,953	7.9	18.1 (17.7)
その他雑貨	16,887,627	2.9	-1.8 (-2.7)
雑 貨	105,280,186	17.8	10.7 (10.3)
家 具	5,180,095	0.9	8.7 (8.3)
家 電	1,225,852	0.2	-8.9 (-9.0)
その他家庭用品	14,601,029	2.5	0.9 (0.3)
家 庭 用 品	21,006,976	3.5	2.0 (1.5)
生 鮮 食 品	39,752,014	6.7	-3.2 (-3.8)
菓 子	64,287,852	10.9	14.0 (13.4)
惣 菜	50,940,203	8.6	5.9 (5.4)
その他食料品	61,818,286	10.4	-0.3 (-0.7)
食 料 品	216,798,355	36.6	4.5 (3.9)
食 堂 喫 茶	10,759,480	1.8	30.3 (29.4)
サ ー ビ ス	4,122,359	0.7	1.9 (1.4)
そ の 他	12,951,133	2.2	1.6 (1.2)
商 品 券	17,169,017	2.9	-3.3 (-3.7)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

Ⅱ. 地区別の動き

- | | |
|------------------|------------------------|
| 1. 10都市売上動向 | 11.7% (3か月連続プラス) |
| 2. 10都市以外の地区売上動向 | 1.8% (店舗数調整後／2か月連続プラス) |

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比 (増減率)	寄与度	トレンド
10都市	11.7	8.3	3か月連続プラス
札幌	14.1	0.3	3か月連続プラス
仙台	6.2	0.1	3か月連続プラス
東京	11.1	3.0	4か月連続プラス
横浜	7.6	0.5	3か月連続プラス
名古屋	12.9	0.8	3か月連続プラス
京都	9.9	0.4	3か月連続プラス
大阪	14.9	2.1	3か月連続プラス
神戸	8.7	0.2	3か月連続プラス
広島	8.7	0.2	2か月連続プラス
福岡	15.0	0.6	3か月連続プラス
10都市以外の地区	1.8	0.5	2か月連続プラス
北海道	-1.6	-0.0	2か月連続マイナス*
東北	-4.6	-0.1	7か月連続マイナス*
関東	3.6	0.5	2か月連続プラス
中部	2.1	0.0	2か月連続プラス
近畿	-0.7	-0.0	2か月ぶりマイナス
中国	3.0	0.1	2か月ぶりプラス*
四国	3.6	0.1	3か月連続プラス
九州	0.0	0.0	2か月連続プラス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行した。(2005年までは6大都市)

Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目は、全ての品目でプラスとなり、衣料品、身のまわり品、雑貨は二桁増となった。その他の品目は、菓子、惣菜が4か月連続でプラスとなったが、生鮮食品は7か月連続でマイナスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比 (増減率)	寄与度	トレンド
総額	8.8	—	3か月連続プラス
紳士服・洋品	11.0	0.6	2か月連続プラス
婦人服・洋品	13.9	2.0	3か月連続プラス
子供服・洋品	5.2	0.1	2か月連続プラス
その他衣料品	-2.7	-0.0	2か月ぶりマイナス
衣料品	11.5	2.7	3か月連続プラス
身のまわり品	15.7	2.0	3か月連続プラス
化粧品	8.7	0.6	3か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	18.1	1.3	11か月連続プラス*
その他雑貨	-1.8	-0.1	7か月連続マイナス*
雑貨	10.7	1.9	3か月連続プラス
家具	8.7	0.1	3か月連続プラス
家電	-8.9	-0.0	6か月連続マイナス
その他家庭用品	0.9	0.0	2か月連続プラス
家庭用品	2.0	0.1	2か月連続プラス
生鮮食品	-3.2	-0.2	7か月連続マイナス*
菓子	14.0	1.4	4か月連続プラス*
惣菜	5.9	0.5	4か月連続プラス*
その他食料品	-0.3	-0.0	3か月ぶりマイナス*
食料品	4.5	1.7	3か月連続プラス
食堂喫茶	30.3	0.5	3か月連続プラス
サービス	1.9	0.0	6か月ぶりプラス
その他	1.6	0.0	8か月ぶりプラス
商品券	-3.3	-0.1	7か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

令和3年12月 東京地区百貨店売上高概況

令和4年1月25日

I. 概 況

1. 売上高総額	1, 636億円余
2. 前年同月比（増減率）	11.1%（4か月連続プラス）
3. 店頭・非店頭の増減	店頭12.3%（90.3%）：非店頭1.4%（9.7%） （ ）内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	12社 24店（令和3年11月対比±0店）
5. 総店舗面積	802,213㎡（前年同月比：－2.1%）
6. 総従業員数	15,320人（前年同月比：－5.3%）
7. 3か月移動平均値	5-7月 16.3%、6-8月 1.5%、7-9月 0.4%、 8-10月 －0.7%、9-11月 5.6%、10-12月 9.0%

[参考] 令和2年12月の売上高増減率は－15.9%

【特 徴】

- 12月の東京地区は、新型コロナ新規感染者数が低水準で推移し、外出機会が増加したことで、売上高(11.1%増/4か月連続)、入店客数(19.7%増/3か月連続)共に高伸した。コロナ禍前の前々年(2019年)比では、売上高6.5%減、入店客数22.9%減だが、前月より売上高は3.2ポイント、入店客数は3.9ポイント改善し、一段と復調傾向を強めた。
- 商品別では、3か月連続で主要5品目全てがプラスとなった。品目別の動向では、外出機会の増加にホリデーシーズンの需要が重なり、若い世代の新規顧客を含む幅広い層で買い上げが見られた。主力の衣料品(15.6%増/3か月連続)をはじめ、ラグジュアリーブランドを中心に身のまわり品(19.4%増/4か月連続)や雑貨(12.6%増/4か月連続)も二桁増と、商況全般を牽引した。特に衣料品では、気温低下でコートなど重衣料や防寒商材の動きが目立った。
- 食料品(6.6%増/4か月連続)では、年末商戦が盛り上がりを見せ、ECを中心にクリスマスケーキやおせちが好調だったほか、前月に続き手土産・ギフト需要の増勢で和洋菓子共に伸長した。また、家庭用品(2.6%増/3か月連続)では年末年始の集まりの増加を受け、迎客商材や迎春準備品等も堅調に推移した。
- 令和3年年間売上高は、7.2%増(3年ぶり/1兆2,115億円)と前年実績を上回った。前々年比では24.0%減とコロナ禍前には及ばないが、前年(令和2年29.1%減)より5.1ポイント改善した。
- 1月中間段階の商況は、初商の好調もあり、36.2%増(1/17時点/前々年比約15%減)で推移している。21日からまん延防止等重点措置が適用されたが、各店とも改めて感染予防対策の徹底に努めている。

【要 因】

- 営業日数増減 31.0日（前年同月比 ±0.0日）
- 入店客数増減（回答店舗数で見ると傾向値／前年同月比／有効回答数17店舗）
①増加した：14店、②変化なし：3店、③減少した：0店
- 12月歳時記（年末商戦（歳暮、クリスマス、年末年始商材））の売上（同上／有効回答数14店舗）
①増加した：6店、②変化なし：8店、③減少した：0店

東京地区百貨店 売上高速報 2021年12月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%)
総 額	163,684,648	100.0	11.1
紳士服・洋品	11,564,609	7.1	14.9
婦人服・洋品	21,646,602	13.2	18.4
子供服・洋品	2,048,302	1.3	13.1
その他衣料品	2,091,510	1.3	-2.9
衣 料 品	37,351,023	22.8	15.6
身のまわり品	23,268,970	14.2	19.4
化粧品	12,881,753	7.9	11.6
美術・宝飾・貴金属	15,550,633	9.5	19.9
その他雑貨	5,282,099	3.2	-2.5
雑 貨	33,714,485	20.6	12.6
家 具	1,587,450	1.0	1.9
家 電	828,219	0.5	-8.5
その他家庭用品	3,941,120	2.4	5.6
家 庭 用 品	6,356,789	3.9	2.6
生 鮮 食 品	7,401,780	4.5	-2.1
菓 子	16,418,959	10.0	18.7
惣 菜	13,619,259	8.3	8.3
その他食料品	18,124,088	11.1	-0.1
食 料 品	55,564,086	33.9	6.6
食 堂 喫 茶	2,405,285	1.5	35.0
サ ー ビ ス	1,716,048	1.0	-4.1
そ の 他	3,307,962	2.0	-9.7

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率(%)

商 品 券	3,856,794 千円	-2.0
従 業 員 数	15,320 人	-5.3
店 舗 面 積	802,213 m ²	-2.1

営 業 日 数	31.0 日	前年	31.0 日
---------	--------	----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目は、全ての品目でプラスとなった。その他の品目は、婦人服・洋品が4か月連続、美術・宝飾・貴金属が11か月連続、菓子、惣菜が10か月連続でプラスとなったが、生鮮食品が7か月連続のマイナスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比 (増減率)	寄与度	トレンド
総額	11.1	—	4か月連続プラス
紳士服・洋品	14.9	1.0	2か月連続プラス
婦人服・洋品	18.4	2.3	4か月連続プラス
子供服・洋品	13.1	0.2	2か月連続プラス
その他衣料品	-2.9	-0.0	5か月連続マイナス
衣料品	15.6	3.4	3か月連続プラス
身のまわり品	19.4	2.6	4か月連続プラス
化粧品	11.6	0.9	4か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	19.9	1.7	11か月連続プラス*
その他雑貨	-2.5	-0.1	5か月連続マイナス*
雑貨	12.6	2.6	4か月連続プラス
家具	1.9	0.0	2か月ぶりプラス
家電	-8.5	-0.1	4か月連続マイナス
その他家庭用品	5.6	0.1	3か月連続プラス
家庭用品	2.6	0.1	3か月連続プラス
生鮮食品	-2.1	-0.1	7か月連続マイナス*
菓子	18.7	1.8	10か月連続プラス*
惣菜	8.3	0.7	10か月連続プラス*
その他食料品	-0.1	-0.0	2か月連続マイナス*
食料品	6.6	2.3	4か月連続プラス
食堂喫茶	35.0	0.4	3か月連続プラス
サービス	-4.1	-0.1	7か月連続マイナス
その他	-9.7	-0.2	10か月連続マイナス
商品券	-2.0	-0.1	2か月ぶりマイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した

全国百貨店 売上高速報 2021年1月～2021年12月

第1表 地区別売上高

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	※店舗数調整後 ()が調整前 対前年増減(-)率 (%)
			※
全 国	4,418,298,830	100.0	5.8 (4.7)
10都市	3,150,012,737	71.3	7.1 (6.8)
札幌	111,881,436	2.5	5.5
仙台	65,485,415	1.5	2.7
東京	1,211,599,037	27.4	7.2
横浜	297,185,992	6.7	9.1
名古屋	303,196,011	6.9	10.9
京都	180,584,978	4.1	5.5
大阪	609,670,012	13.8	5.0
神戸	108,679,685	2.5	10.6 (3.3)
広島	91,449,998	2.1	0.0
福岡	170,280,173	3.9	11.0
10都市以外の地区	1,268,286,093	28.7	2.9 (-0.3)
北海道	10,412,858	0.2	-1.7
東北	56,598,399	1.3	-1.5 (-5.0)
関東	566,707,489	12.8	5.2 (2.6)
中部	94,776,108	2.1	5.1 (-4.1)
近畿	180,907,153	4.1	0.7 (-2.7)
中国	98,824,032	2.2	0.3
四国	62,393,555	1.4	1.7 (-10.1)
九州	197,666,499	4.5	0.5

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%)
			※
総 額	4,418,298,830	100.0	5.8 (4.7)
紳士服・洋品	243,823,749	5.5	-0.6 (-1.7)
婦人服・洋品	753,986,916	17.1	6.2 (4.8)
子供服・洋品	88,734,493	2.0	-2.7 (-3.9)
その他衣料品	79,917,048	1.8	-0.4 (-1.8)
衣 料 品	1,166,462,206	26.4	3.5 (2.2)
身のまわり品	605,943,837	13.7	11.3 (10.1)
化粧品	348,242,463	7.9	1.6 (0.8)
美術・宝飾・貴金属	367,795,840	8.3	25.7 (24.7)
その他雑貨	141,931,618	3.2	-1.0 (-2.5)
雑 貨	857,969,921	19.4	10.2 (9.2)
家 具	46,941,198	1.1	2.4 (1.0)
家 電	14,754,154	0.3	5.9 (5.9)
その他家庭用品	119,494,536	2.7	3.1 (1.6)
家 庭 用 品	181,189,888	4.1	3.2 (1.8)
生 鮮 食 品	255,577,904	5.8	-2.2 (-3.3)
菓 子	388,117,527	8.8	9.2 (7.8)
惣 菜	311,653,190	7.1	7.6 (6.7)
その他食料品	411,301,741	9.3	3.2 (2.1)
食 料 品	1,366,650,362	30.9	4.7 (3.6)
食 堂 喫 茶	82,871,986	1.9	-0.1 (-1.1)
サ ー ビ ス	42,931,845	1.0	4.6 (3.5)
そ の 他	114,278,785	2.6	-4.8 (-5.2)
商 品 券	101,156,853	2.3	-1.4 (-2.1)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

東京地区百貨店 売上高速報 2021年1月～2021年12月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%)
総 額	1,211,599,037	100.0	7.2
紳士服・洋品	85,523,749	7.1	2.2
婦人服・洋品	174,093,859	14.4	6.8
子供服・洋品	22,585,137	1.9	-0.1
その他衣料品	17,877,097	1.5	-3.0
衣 料 品	300,079,842	24.8	4.3
身のまわり品	169,874,404	14.0	9.2
化粧品	103,071,810	8.5	3.5
美術・宝飾・貴金属	118,844,261	9.8	32.3
その他雑貨	45,226,973	3.7	2.1
雑 貨	267,143,044	22.0	14.3
家 具	14,659,432	1.2	-8.3
家 電	11,081,146	0.9	12.4
その他家庭用品	33,483,561	2.8	4.0
家 庭 用 品	59,224,139	4.9	2.0
生 鮮 食 品	49,005,303	4.0	-2.0
菓 子	95,390,187	7.9	12.0
惣 菜	78,365,609	6.5	12.4
その他食料品	125,149,368	10.3	5.4
食 料 品	347,910,467	28.7	7.5
食 堂 喫 茶	17,427,732	1.4	-0.4
サ ー ビ ス	19,602,367	1.6	5.3
そ の 他	30,337,042	2.5	-15.7

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

		対前年増減(-)率(%)
商 品 券	23,954,514 千円	0.4
従 業 員 数	188,665 人	-4.8
店 舗 面 積	9,666,935 m ²	-2.5

営 業 日 数	30.2 日	前 年	28.0 日
---------	--------	-----	--------

お問い合わせは、日本百貨店協会 橘・長柴 まで
TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>